



# みえの子

「可能性に挑戦！」

～肯定的な関わりの中で、非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）を子どもたちに～



## 秋季運動会実施 最後まで 心を一つに やりきろう！



9月28日（土）、令和6年度の秋季運動会を実施しました。練習時は、厳しい残暑の中でしたが、子どもたちは心と目と耳をよく働かせ、しっかりと取り組むことができていました。

運動会でも、一生懸命駆け抜けたたりダンスを踊ったりする姿や仲間を応援する姿、負けても相手に拍手をおくる姿等、カッコいい姿をたくさん見ることができました。児童会で考えた「最後まで 心を一つに やりきろう！」のスローガンを達成しようと頑張りぬくことができたように感じています。本当に素晴らしい力と心を持つ子どもたちだとうれしく思いました。こうした素晴らしい姿を、今後の学校生活に活かし、さらなる可能性に挑戦していけるよう、教職員一同、子どもたちを支えていきたいと思っています。地域・保護者の皆様には、最後まで、子どもたちに温かい声援をおくっていただき、ありがとうございました。

テント準備・撤収等片づけにご協力いただきました保護者の皆様、本当にありがとうございました。



## 4年生「稲刈り」を体験しました。

9月19日（木）4年生が「稲刈り」を体験しました。5月15日（水）に、植えた苗がおいしそうなる稲穂に成長していました。4年生の子どもたちは、地域や保護者の方にご協力をいただき、お米づくりの大変さを感じながら稲刈りを体験することができました。



4月18日実施「全国学力・学習状況調査」の結果の概要とこの調査から見える本校の課題、それに対する今後の取組（対応等）についてお知らせします。「国語」「算数」による、それぞれの「知識と活用を一体的に問う」問題と「児童質問紙」による、「学習習慣と生活習慣の全般について問う」質問が実施されました。

### ＜結果の概要＞

本校は「国語」「算数」ともに、正答率の全国平均との比較では「努力が必要」という結果でした。

### ＜各教科における本校の課題（●）と今後の取組＞※顕著なものを抜粋しています。

☆国語 ●目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうか。

●登場人物の相互関係や心情を描写を基に捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができるかどうか。

#### ＜今後の取組（対応策）＞

◎自分の立場や考えを明確にし、理由とともに書いたり5W1Hを意識しながら文章を書いたり、条件付け（字数制限・指定された言葉の活用等）された文章を書いたりする活動を取り入れる。

◎登場人物の相互の関係や心情等を捉えるために描写や叙述に着目させた学習に取り組む。

◎読書の習慣化を図り、様々なジャンルの文章や長文を読む。

☆算数 ●加法や減法の問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうか。

●日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考察できるかどうか。

#### ＜今後の取組（対応策）＞

◎問題文の数値や式と、具体物や図表などを関連付けて考察する場を設定する。

◎日常の生活場面と学習課題をつないで考える。

◎順序を表す言葉や算数用語、理由を表す言葉を使って、筋道立てて説明する活動を取り入れる。

### ＜児童質問紙による調査結果＞※顕著なものとして、以下のようなものがありました。

○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと、すべての児童が捉えている。

○人の役に立つ人間になりたいと、すべての児童が考えている。

○将来の夢や目標を持っている児童の割合は、全国の割合より高い。

●普段（月曜日から金曜日）、1日にテレビゲームを3時間以上している児童の割合が、全国の割合より高い。

●毎朝同じ時刻に起きたり、毎晩同じ時刻に寝たりするという回答をした児童の割合は、全国の割合より低い。

●学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日30分以上読書する児童の割合が低い。（市調査）

学校では、以下の点について、昨年度に引き続き大切にしていまいります。ご家庭でもご協力をお願いします。

① 「早寝・早起き・朝ごはん・省テレビ」等生活リズムを大切にしましょう。

② ネットにつながる携帯・スマホ・ゲーム機等についての「家庭での約束」をつくって、しっかり守るようにしましょう。

③ おうちで「本を読む時間」「学習する時間」をつくりましょう。